

『グローバル・ガバナンス学Ⅰ 理論・歴史・規範』◇目次

はしがき

略語一覧

序 章 グローバル・ガバナンス

——国際秩序の「舵取り」の主体と方法……………大矢根聡 Ⅰ

- 1 はじめに Ⅰ
- 2 「舵取り」の主体と方法? 2
- 3 冷戦後の秩序像 4
- 4 分析概念としてのグローバル・ガバナンス 6
- 5 脱「冷戦後」の分析枠組みへ Ⅱ
- 6 おわりに Ⅳ

第1部 理論——グローバル・ガバナンス論の再検討

第1章 グローバル・ガバナンス論再考

——国際制度論の視点から……………古城佳子 20

- 1 はじめに 20
- 2 リベラリズムの系譜としての国際レジーム論と国際制度論 21
- 3 グローバル・ガバナンス論の台頭 25
- 4 国際経済におけるグローバル・ガバナンス 30
- 5 おわりに 33

第2章 国際秩序と権力……………初瀬龍平 37

- 1 はじめに 37

2	国際秩序と支配—基礎的考察	38
3	国際秩序と権力①—歴史的考察	44
4	国際秩序と権力②—機能的考察	47
5	「国際秩序と権力」を超えて	51
6	日本をめぐる国際秩序	53
7	おわりに	56

第3章 グローバル・ガバナンスと民主主義

—方法論的国家主義を超えて……………田村哲樹 59

1	はじめに	59
2	複数のグローバル民主主義論と方法論的国家主義	61
3	方法論的国家主義の残存—コスモポリタン民主主義論の場合	63
4	ポスト方法論的国家主義へ—グローバル市民社会論の再検討	68
5	ポスト方法論的国家主義的な制度構想	73
6	おわりに	76

第4章 グローバル・ガバナンスとしてのサミット

—政策調整「慣行」の視角から……………大矢根聡 80

1	はじめに	80
2	グローバル・ガバナンスとしてのサミット	81
3	大国間協調とソフトな制度的枠組みの間	83
4	サミットにおける政策調整とその慣行化	85
5	冷戦後のグローバル化推進・修正と政策調整慣行の断片化	91
6	G20サミットにおける政策調整慣行の移植	95
7	おわりに	98

第2部 歴史——戦後国際関係史への視座

第5章	覇権システムとしての冷戦とグローバル・ガバナンスの変容 ……………菅英輝	104
1	はじめに	104
2	第二次世界大戦後の新たな国際秩序形成の動き—冷戦統合による米ソ中心のガバナンスの構築	106
3	米ソ共同管理体制形成の動きと両陣営内からの異議申し立て—顕在化する米ソ覇権システムの矛盾	108
4	第三世界における脱植民地化運動の挑戦—冷戦ガバナンスの変容と植民地支配の終焉	111
5	ブレトンウッズ体制の崩壊とソ連型経済システムの行き詰まり—冷戦統合の限界	114
6	「社会的デタント」と冷戦ガバナンスの終焉	119
7	おわりに	123
第6章	イギリス帝国からのコモンウェルスへの移行と戦後国際秩序 ……………山口育人	127
1	はじめに	127
2	「帝国世界の解体」の時代とコモンウェルス再編	128
3	ブレトンウッズ体制とコモンウェルス	129
4	インド洋安全保障問題とコモンウェルス	135
5	戦後グローバル・ガバナンスの転換とコモンウェルス	141
6	おわりに	142
第7章	「開発」規範のグローバルな普及とリージョナル・アプローチ—アジア開発銀行(ADB)創設を事例にして ……………鄭敬娥	146

1	はじめに	146
2	「開発」規範の生成と歴史的展開	148
3	南北問題の出現と開発規範の普及	151
4	ADB 規範の形成	153
5	「アジア的方法」(Asian Way) の模索	159
6	おわりに	160

第8章 戦争とグローバル・ガバナンス

——戦争違法化は平和への進歩か?……………・三牧聖子 167

1	はじめに	167
2	戦争違法化は平和への進歩か?	169
3	「不戦条約の核心」としての第2条	174
4	おわりに	180

第3部 規範——規範創出・転換をめぐる外交

第9章 貿易自由化ガバナンスにおける多角主義と地域主義

——マルチエージェント・シミュレーションによる行動規範の分析
……………・鈴木一敏 186

1	はじめに	186
2	貿易自由化におけるガバナンスの変容	187
3	先行研究と問題提起	190
4	譲許交換モデルの構成	192
5	シミュレーションによる検証	196
6	おわりに	202

第10章 ウクライナ危機とブダペスト覚書

——国際規範からの逸脱をめぐる国際社会の対応……東野篤子 205

- 1 はじめに 205
- 2 グローバル・ガバナンス研究と国際規範 206
- 3 ウクライナ危機とグローバル・ガバナンス 207
- 4 クリミア危機とブダペスト覚書をめぐる各国の「規範」 209
- 5 おわりに 215

第11章 国連海洋法条約と日本外交

——問われる海洋国家像……都留康子 221

- 1 はじめに 221
- 2 第1次・第2次国連海洋法会議と日本の後悔? 222
- 3 第3次国連海洋法会議と日本 225
- 4 日本の描く海洋国家像 230
- 5 おわりに 232

第12章 日本による人間の安全保障概念の普及

——国連における多国間外交……栗栖薫子 236

- 1 はじめに 236
- 2 冷戦後の日本外交におけるグローバル・ガバナンスへの関与とその漸進的变化 237
- 3 政策決定者による国力認識と対外政策 239
- 4 日本の多国間外交の特徴 241
- 5 人間の安全保障—グローバルな理念の提示と「知的リーダーシップ」の追求 243
- 6 国連総会における概念の普及をめぐる—外務省の役割 245
- 7 おわりに 251